

青年部通信

いしずえ

礎

No. 5





この顔に
ピン
ときたら
青年部
です

「何を子供世代に伝えるか」

青年部 調査研究委員長 萱場良江（納場保育園）

社会福祉事業の規制緩和により、情報公開、運営費の弾力化、特別保育の拡充、民間企業の参入等々次から次へと変革され、固いかたい規制の下、息苦しかった保育業界に新しい風がほほえみ、乳児保育促進事業や少子化対策臨時特例交付金、家庭的保育事業の育成助成、新会計等、次々と打ち出される厚生省からの通知に、理想に近づこうとする力を感じます。

さて、その様な中、自分はと思うと、様々な情報を自分のものにするに体力を使い、毎年のように降って来る甘い飴に消化不良を起こさないよう。またこの波に飲み込まれ治部を見失わないよう、根を張らねばと、今更ながらのように原点を探る日々。

社会の価値体系が変貌し、子供を取り巻く生活環境も大きく変わり、食生活を含む生活リズムが各位様々となり、本来の人間生態にふさわしい基本的なものがズレてきている。東洋医学の陰陽虚実というからだの見方からすると、現代っ子は昔の子供に比べ、体の熱生産量（エネルギー）が少なくなっているようです。複雑な社会に生きている若者たちは、人間にしか出来ない言葉を介してのコミュニケーションに困難を感じたり・・・何か少し変だぞ？

斯くいう自分も、2000年夏の7年ぶりとかいわれる猛暑の為だったのか些かボケぎみ、自律神経機能による身体調節が鈍くなってきているのでは？（少々不安）ムムム・・・などと、体力、気力共にくじけている場合ではない！

次の時代を担う子どもたちに何を伝えるか、何か変だぞ？と言われたい為にも、自己の人生の根本を探り、スタッフ（職員）の理解と協力を得ながら、基本となる理念をもって家族や子供への支援に取り組まなければならない。

”世の中で一番楽しく立派な事は、一生涯を貫く仕事を持つと言う事です”

”世の中で一番尊い事は、人の為に奉仕し決して恩にきせない事です”

の啄木の言葉ではありませんが、楽しく、尊いこの仕事に、子どもたちに、感謝。

そしていつも指導して下さる諸先輩方、暖かく支えてくれる青年部の仲間たちに感謝。

さあ、新しい保育界へ向かって頑張りましょう！

平成12年度 事業計画

研修委員会

☆視察研修会（11月21日～22日）

視察先 大宮町 さくら保育園
益子町 やわらぎ保育園

☆人事管理研修会（12月6日）

テーマ「選ばれる保育所の人事システム」
講師：神奈川 五反田保育園 伊 沢 昭 治 氏
会場：水戸 ホテルシーズン

☆マナー研修会（1月16日）

テーマ「社会人としての話し方教室」
・話し方の基本（対個人、職場内、保護者等）
・応用編（大勢の人を前にした時の話し方、園行事、地域行事等）
講師：管家ゆかり 氏
会場：茨城県総合福祉会館

調査研究委員会

- ☆県内保育所（園）土曜の園児出席状況調査
- ☆県内保育所（園）保育料調査

広報委員会

- ☆年2回 広報誌「礎」発行

青年部

- ☆茨城県民間保育協議会 新会計研修会への協力
(12月13日)

特 集

— 第22回全国青年保育者会議（熊本大会） —

（平成12年11月8日～10日）

会場：ホテルニューオータニ熊本



《研修内容》

（1日目）パネルディスカッション

テーマ「認可から社会的認知へ」～迫り来る省庁再編～

（2日目）分科会

第1分科会（経営研究委員会）

「生活コミュニティの中の保育所」～社会全体の子育て責任～

第2分科会（保育研究委員会）

「保護者とのコミュニケーション手法」～連絡帳の基本項目作成～

第3分科会（情報研究委員会）

「氾濫する情報の取捨選択とは」～役立つ情報整理ダンス～

第4分科会（執行部）

「もっとスリムに、わかりやすく」

（3日目）記念講演「願い・夢・希望」

講師 葉 祥明 氏（画家、詩人、絵本作家）

特別講演「今後の保育行政／省庁再編などの状況の中で」

講師 清水 美智夫 氏（厚生省児童家庭局保育課長）

分科会報告

●全国青年保育者会議に参加して

飯沼保育園 保育士 平田 淳子

豪壮堅固で美しい熊本城、雄大なる阿蘇の山々・・・私はこの火の国「熊本」で3日間の研修会に参加しました。



これから21世紀に向けての期待と豊富は、現代社会の情勢を的確に把握して、今後どうすべきか考えなければならない時期だということが分かりました。特に少子化が進行し、核家族の増加・女性の社会進出・近隣地域の希薄化により、家族や地域の子育て機能が低下している中で、最も身近な児童福祉施設（保育所）として、私たち保育士がプロ意識を高め、子育ての知識・経験・技術を持ち、支援して行かなければならないと思いました。

「親のため」「子どものため」にばかりでなく、社会全体で「保育」という大きな輪を形成し、バランスよく努めて行く必要性を感じ

ました。分科会（第2分科会：保護者とのコミュニケーション手法～連絡帳の基本項目作成～）に於て、連絡帳というパトーンで保護者（子ども）と保育士を繋ぎ、プラス面やマイナス面であっても伝える必要があります。しかし、伝達には相互に理解できるような思いやりなどの配慮が重要だと思います。



日本各地に特色があるように、保育所も各園の特色を作り、生かさなければなりません。私自身、乳幼児期最も大切な時期の子どもたちの個性に応じた成長を見守りながら、愛情と信頼感を深め、今後の保育に生かしたいと思います。



青年部研修委員会主催

視察研修会 (11月21日～22日)

視察先：大宮町 さくら保育園

益子町 やわらぎ保育園

● 視察研修に参加して

大野めぐみ保育園 保育士 伊藤実和子

今年度から子育て支援・学童保育の担当となり、まだまだ学んでいかなければならない事も沢山あり、今回の視察研修をとっても楽しみにしていました。

さくら保育園では、同じ大宮町にある大宮聖愛保育園との連携、検診時の協力の仕方についてなど興味深い話や、実際の支援の場を拝見させて頂く事ができました。

やわらぎ保育園では、小学生の帰園後の姿を見せて頂いたり、地域性を生かした活動内容、長期



休暇中のプログラムなど子どもたちの事を考えた配慮、又、園長先生の保育に対する熱き思いをお伺いする事が出来ました。

今後について課題、検討させられていた中、両園を視察させて頂きとても参考、勉強になったと同時に活力まで頂いたような気が致します。本当にありがとうございました。



● 視察研修に参加して

大野ひかり保育園 保育士 内田三枝子

晩秋の季節、大子・益子方面に出かけ二ヶ所の保育園を見学させて頂きました。

さくら保育園では、地域子育て支援センターの概要・活動の様子を園長先生よりお聞きし、担当者からは実践の詳しいお話や質問に快く答えて頂きました。昭和62年に単独事業として未就園児広場を開設、地域の子育てに目を向けて来られた園長・副園長先生に温かな情熱を感じました。園内の手作り品からも伝わって来ます。



やわらぎ保育園では同敷地内にある児童館を見

学。5つの小学校より子ども達が利用している。「ただいま！」と元気な声が聞こえます。大島園長先生の端整なお姿・「職員教育に力を入れている」というお話から情熱と強い信念を感じました。



いかに情熱を持って保育に取り組むか、子供・親・地域の立場に立った物の捉え方に感動しました。大子・益子の自然を満喫し、人との出会いに感謝し研修を終えることができました。ありがとうございました。



◎やわらぎ保育園のパンフレット



◎パンフレット中の児童館の概要

青年部研修委員会 主催

人事管理研修会

— 選ばれる保育所の人事システム —

講師：日本保育協会青年部 副部長

神奈川 五反田保育園 園長 伊澤昭治氏



日時：12月6日（水）

場所：ホテルシーズン（水戸）

参加人数：24名

ここ数年間で我々認可保育所を取り巻く環境はめまぐるしく変化してきた。戦後半世紀続いてきた措置制度中心のサービス提供体制が利用者の選択による契約制度へと移行し、また、本年度より様々な事業主体の参入が可能になり、保育所も一般企業を相手に競争を余儀なくされることとなり、今までの措置制度下の行政指導による運営から法人としてのしっかりとした経営管理を持って地域利用者のニーズに沿うよう努力していかなければ生き残れない時代に入ってきた。

過日、神奈川県藤沢市の（社福）五反田保育園園長であり、（社福）日本保育協会青年部副部長の伊澤昭治先生をお招きし、「選ばれる保育所の人事システム」と題しての研修会が開催された。経営管理という観点からの社会福祉法人における人材育成・賃金処遇・人事考課について実際の導入事例を交えながらのお話であった。

今後、より良い保育サービスを提供し選ばれる保育所となるためには、また、法人が自主的な事業運営を積極的に展開していくためには、我々自ら切磋琢磨し明確な経営理念をもって運営努力していくのはもちろんのこと、基本となる職員の採用・育成・評価・処遇を一体的に考えた適切な人事管理を行っていくことが大切であることを痛感した。

青年部 研修委員長 細田 峰 彰（深芝保育園）

◎研修会に参加して

青年部 私立保育園連盟担当 浅野 健二 (かすみ保育園)

良い人材の確保と、労働に対する評価制度については、すでに多くの企業を取り入れているところであり、その理由は、保育園経営においても同じと思います。

今回の研修では、特に、経営側の都合が優先し、人材の育成や公平な評価を忘れてしまっただけは、成り立たないシステムである事、また、準備段階においての注意点等、参考にした点など多くを得る事ができた。

今後、自分の園にとって必要か否かを見極めて参考にあることは取り入れていきたいと思えます。



◎研修会に参加して

おしのべ保育園 主任保育士 桜井 豊子

「選ばれる保育所の人事システム」を参考に新たな人事システムの必要性を伺う。

社会福祉法人制度の改革、職能資格、人事考課作成、職能給制度等、これから導入されるであろうシステムの一部に触れてきました。

OJT園内研修を行うことにより、職員一人ひとりが保育園の顔であることを新人の時から教育し、意識付けをしていくことが必要であるとのことでした。

常に時代の流れを把握近代化に努めなければならないことを実感いたしました。

伊澤先生、お忙しいところ、本当にありがとうございました。



★参考資料

「選ばれる保育所の人事システム」

人事考課・賃金制度・人材育成

出版社：中央法規出版

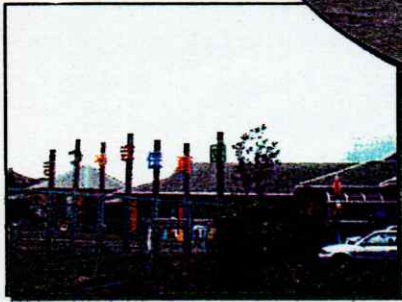
著者：日経連・社会福祉懇談会・人事システム研究会

定価：本体3,000円(税別)

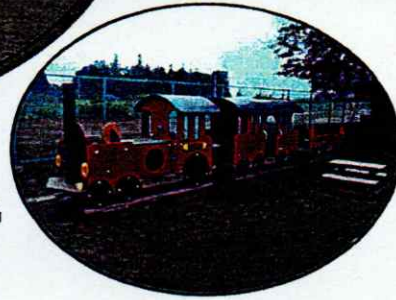
ぬきうち保育園訪問inまつやま保育園



園長先生と園舎
(この時は夏・・・)



←遠くからも見える園名



まつやま保育園のちょっと力入ってます

- ◎保護者の保育参加
 - ・保護者を保育士の助手として保育に参加
- ◎給食へのこだわり
- ◎地域子育て支援センター「ねっこ」
 - ・乳幼児レスト・らん
 - ・子育てサポート事業「ナーサリー」
 - ・サーサリースクール開講



こだわりのランチ
(野菜は生！)



☆乳幼児レスト・らん



←園庭開放



↑ログハウス風レスト・らん
(予約制)



←乳幼児レスト・らんの食事風景
(地域子育て支援として地域の親子さんに開放し、保育園で用意したランチを食べてもらっています)

☆子育てサポーター養成基礎講座



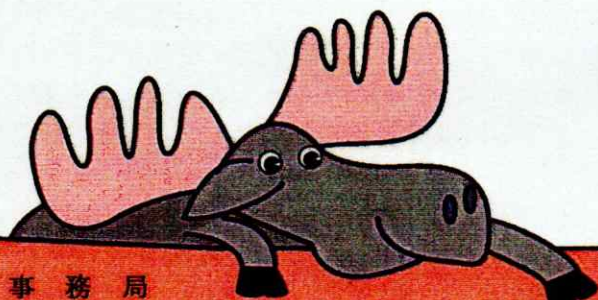
養成基礎講座の修了証授与風景
守谷町と協力して年4回のサポーター養成講座を実施しているそうです

☆子育てサポーター養成基礎講座カリキュラム

期日	科目名	内容	講師	時間	会場
4月	1 開校式	開校式	守谷町 長官 大久保 昌	Am 9:30-11:40	守
4月	2 子育て支援のしくみ	子育て支援のしくみ	守谷町 子育て支援課長 大久保 昌	Am 9:30-11:40	守
4月	3 子育て支援のしくみ	子育て支援のしくみ	守谷町 子育て支援課長 大久保 昌	Am 9:30-11:40	守
4月	4 子育て支援のしくみ	子育て支援のしくみ	守谷町 子育て支援課長 大久保 昌	Am 9:30-11:40	守
4月	5 子育て支援のしくみ	子育て支援のしくみ	守谷町 子育て支援課長 大久保 昌	Am 9:30-11:40	守
4月	6 子育て支援のしくみ	子育て支援のしくみ	守谷町 子育て支援課長 大久保 昌	Am 9:30-11:40	守
4月	7 子育て支援のしくみ	子育て支援のしくみ	守谷町 子育て支援課長 大久保 昌	Am 9:30-11:40	守
4月	8 子育て支援のしくみ	子育て支援のしくみ	守谷町 子育て支援課長 大久保 昌	Am 9:30-11:40	守
4月	9 子育て支援のしくみ	子育て支援のしくみ	守谷町 子育て支援課長 大久保 昌	Am 9:30-11:40	守
4月	10 子育て支援のしくみ	子育て支援のしくみ	守谷町 子育て支援課長 大久保 昌	Am 9:30-11:40	守
4月	11 子育て支援のしくみ	子育て支援のしくみ	守谷町 子育て支援課長 大久保 昌	Am 9:30-11:40	守
4月	12 子育て支援のしくみ	子育て支援のしくみ	守谷町 子育て支援課長 大久保 昌	Am 9:30-11:40	守
4月	13 子育て支援のしくみ	子育て支援のしくみ	守谷町 子育て支援課長 大久保 昌	Am 9:30-11:40	守

★あなたも日本保育協会青年部専門
委員会で活動してみませんか？

1. 委員会 (1) 経営研究委員会
(2) 保育研究委員会
(3) 情報研究委員会



2. 事務局

〒315-0001

茨城県石岡市石岡2092-2 泉ヶ丘保育園

日本保育協会青年部 事務局長 渡辺信行

Tel 0299-23-6458

FAX 0299-23-6459

☆平成12年度 日本保育協会青年部専門委員会 活動内容☆

《経営研究委員会》

日々成長を遂げて行く子ども達・・・その子ども達同様に変化を続けて行く保育界。ここ数年の間でも児童福祉法改正を皮切りに、保育所保育方針の改定、新エンゼルプランの策定、社会福祉法人会計基準の制定、保育所の設置認可に関わる規制緩和等々、我々認可保育所を取り巻く環境は、かつてないほど短期間のうちに激変してきたのである。

当委員会では、これら変革の本質を見極めるとともに、「保育」と「経営」というある意味では相反する事がらを様々な視点からとらえ、両面が効率的に融合する保育所経営を研究したいと考えている。また、利用者の最善の利益を尊重しつつ、保育所利用者及び保育所経営者が理想とする保育システム・経営システムのあり方について研究し、提言したいと考えている。

今後も保育所を取り巻く環境は変化し続けるだろう。そこで我々が意図しない激動の波に飲み込まれてしまうのか、我々が波を起こすのか・・・若い今しかできないことがあるはずだ。

《保育研究委員会》

昨今の子育て論は、どうも大人のエゴ的な上から子どもをみる「監督法」が多いように思われる。我々保育者が行うべきは、子どもに「感得法」を伝授することではないだろうか。

保育所のユーザーは保護者であるが「保育」を受けるのは、あくまでも子ども達である。我々保育者は、子どもの目線を忘れてはならない。そこで、本委員会では、初年度にまず委員の方々に子どもの頃を思い出して頂き、自分の子どもの頃はどのような遊びをし、その遊びから何を感じ・身に付けたかなどを論議・解析していきたい。

そして、子ども達に必要な「保育」を見えてきたところで、現状の保育を保育方針等と照らし合わせながら「家庭保育」と「保育所保育」の意義と手法を研究していきたい。

最終目的としては、保護者にアピールしづらい「質のある保育」を各園のパンフレット・広報文・園だより等に使えるような、保護者への家庭保育の指導文などという形でまとめたい。

《情報研究委員会》

今期の情報研究委員会では、「情報」という言葉の意味にこだわらず、調査研究的な活動を中心に進めていきます。具体的には、下記のような内容となりますので、特に初めて青年部活動にかかわろうとする方、広い視野で保育界を見つめ直してみたいと思っている青年部員の方は、ぜひ当委員会へ。

- (1) 異種同業者の事業・経営・保育内容の調査と部内情報提供
 - ① NPO、農協、生協などの非営利法人について
 - ② 株式会社など営利法人について
- (2) 保育園が発信する情報のあり方についての調査研究と部内情報提供
 - ① 保護者が求めている情報とは
 - ② 情報発信と法律的側面（プライバシー保護のあり方）

★委員会活動に是非参加し、練成練磨されたい方は、

泉ヶ丘保育園 渡辺信行先生までご連絡下さい。

Tel 0299-23-6458

FAX 0299-23-6459

茨城県民間保育協議会 青年部 部員名簿

青年部長 川崎 誠 ひたちなか 平磯保育園	相談役 東ヶ崎 静仁 東茨城 飯沼保育園	副部長(日保協担当) 渡辺 信行 石岡 泉ヶ丘保育園	副部長(私保連担当)・事務局長 中西 良健 鹿行 大野ひかり保育園
日保協担当 藤崎 貴英 鹿行 北浦保育園	私保連担当 浅野 健二 鹿行 かすみ保育園	広報委員長 小口 善孝 筑西 まつばら保育園	研修委員長 細田 峰彰 鹿行 深芝保育園
調査研究委員長 萱場 良江 東茨城 納場保育園	広報副委員長 住谷 和子 笠間 おしのべ保育園	研修副委員長 藤峰 泉 東茨城 恵泉保育園	調査研究副委員長 新井 平一 筑西 石田保育園
広報委員 小松崎 朋子 笠間 大沢保育園	広報委員 逆井 康志 常総 小山保育園	研修委員 滝口 千佐 東茨城 滝口保育園	研修委員 永徳 真隆 水郡 さくら保育園
調査研究委員 菊池 弘子 県西 境いずみ保育園	調査研究委員 松山 美法 取手 松山保育園	調査研究委員 茅根 誠 北部 磯原保育園	中西 三千子 鹿行 大野めぐみ保育園
井上 典子 水戸 ひので保育園	堀川 一枝 ひたちなか 堀川保育園	高塚 浩一 鹿行 大洋保育園	新井 洋子 県西 三和保育園
竹江 美香 笠間 みか保育園	山崎 進 鹿行 串挽保育園	岩堀 隆太郎 鹿行 万徳寺保育園	櫻井 清 東茨城 ひじり保育園
大川 隆永 鹿行 竜翔寺保育園	佐藤 孝守 北部 松ヶ丘保育園	谷島 佳子 筑西 しろはと保育園	羽持 正博 土浦 土浦愛隣会保育所
渡辺 操 北部 中郷保育園	浅野 学志 笠間 めぐみ保育園	茂垣 亮子 水郡 大宮みのり保育園	佐藤 勉 北部 いしまち保育園
滝田 昌孝 筑西 つくば保育園	郡司 悦子 稲北 ときわ保育園	堀米 映子 東茨城 さくら第二保育園	小林 正男 県西 五鑫保育園
白田 礼治 ひたちなか 柳沢保育園	早川 美恵子 常総 中結城保育園	小池 健 北部 大津保育園	橘 敏彦 常総 みどりが丘保育園
工藤 義人 県西 こばと保育園	西條 健一 鹿行 矢田部保育園	茂垣 由美子 水戸 石川保育園	丹保 剛 常総 岩井保育園
河野 陽子 ひたちなか なかや保育園	舛田 高順 鹿行 星和保育園	秋山 順弘 日立 小木津聖徳保育園	田村 晃洋 日立 田尻徳風保育園
笹嶋 康子 ひたちなか 勝田すみれ保育園	大谷 隆 ひたちなか 勝田あすなろ保育園	清水 利春 ひたちなか 清心保育園	

編集後記

礎No.5を20世紀最後にお届けいたします。

今年度も保育園を訪問し、色々な事業や行事を特集してみました。

今回は、守谷町にあるまつやま保育園で取り組んでおります、子育てサポーター育成講座、保育参加、乳幼児レスト・らんを紹介致します。

※子育てサポーター

子育ての中のほんのちょっとした、手助けが欲しいお母様方を応援する事業。

※保育参加

保護者に保育士の助手的な存在として一日活動して頂く行事

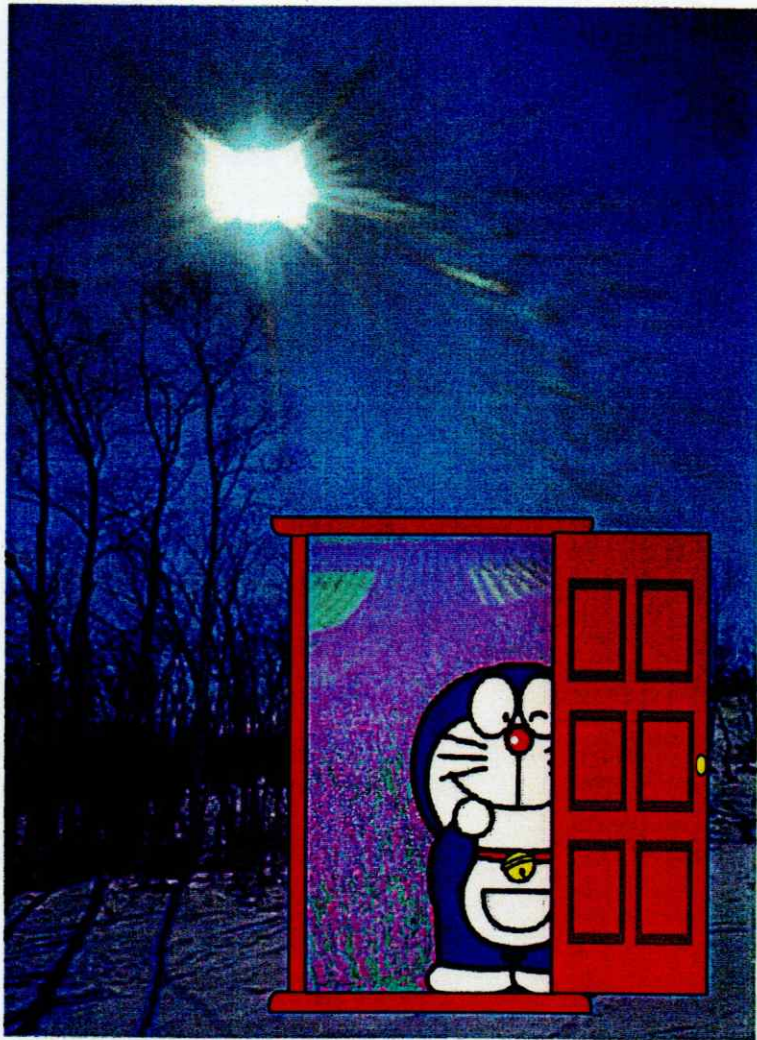
※乳幼児レスト・らん

予約制ですが、地域の親子が保育園へ来て、のんびりと食事を楽しむ事業

子ども達がのびのびと園生活を送っている姿を見せて頂きましてありがとうございました。

楽しい広報誌「礎」にしたいと思っておりますので、積極的に皆様からの原稿をお待ちしております。

広報委員一同より



茨城県民間保育協議会
青年部／広報委員会 発行
発行日：平成12年12月吉日